

教育実習 頑張っています

舞鶴小は、山梨大学の教育実習協力校として、教員を目指す学生の指導を行っています。今年度も、前期(6月1日～6月19日)と後期(9月7日～9月30日)それぞれ4名ずつの教育実習生を受け入れています。教育実習生は、それぞれ3週間という短い期間ではありますが、教職に必要な専門的な知識や技能を高めたり、子どもへの愛情と教育への情熱を感じたりと、真剣に取り組んでいます。

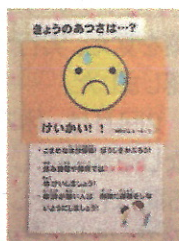
教育実習生は、1週目は本校教諭による授業を参観し、クラスの雰囲気や子ども達一人一人の様子を感じ取ったり、そのクラスの授業の進め方を学んだりします。2週目は、学習指導案をもとに授業を行い、授業後は学級担任と反省会をして成果と課題について指導を受けます。3週目には、大学の先生にも参観していただく研究授業を行ったり、終日経営という丸1日指導を任される経験をしたりしながら、3週間の成果を確認します。

現在、後期の4名の教育実習生が子ども達と元気に活動しています。ぜひ、教員として子ども達の前に立つという夢を実現してほしいと願います。

秋らしい季節になりましたが…

9月下旬に入り一気に秋らしくなりました。しかし、日中の日差しはまだまだ強いので、子ども達が外に出ることが多い業間休みや昼休みの熱中症対策は、引き続き行って参ります。

舞鶴小では、それぞれの休み時間に入るときに、養護教諭や教務主任が次の放送をしています。



【外遊び中止の放送】

今、外がとても暑くなっているため、今日の業間休み(昼休み)は外遊び中止です。校舎の中で過ごすようにしましょう。1日を通してこまめに水分補給をするようにしてください。

【外遊びの水分補給の放送】

業間休み(昼休み)は外遊びできますが、外が暑くなっているため、教室で水分補給をしてから外に出るようにしましょう。外に行くときには、必ず帽子をもっていきましょう。暑さに気をつけながら過ごしましょう。

また、下校する時間の暑さが厳しいときには、

【下校前の水分補給の放送】

今、外の気温が()℃です。とても暑くなっているため、下校前に教室で水分補給をしてから外に出て、日傘をさして帰りましょう。

下校の途中でのどが渇いたときには、車が通っていないところで立ち止まって水分補給をしましょう。暑さに気をつけて下校してください。

という放送を流し、子ども達に注意を促しています。しばらくは、朝晩の寒暖差も心配です。ご家庭の皆様も地域の皆様も、健康には十分お気をつけください。

読書週間

読書週間といえば秋のイメージが強く、本校も、一昨年までは10月に行っていました。今年度も猛暑を考慮して運動会を10月末に実施するため、練習等で忙しくなる10月をさけ、9月14日(月)から10月2日(金)までの期間に実施することになりました。

ねらいを「本に親しませ、望ましい読書習慣を身に付けさせることにより、心豊かな子どもを育てる。子ども達に本の持つ楽しさを知ってもらい、読書の輪を広げていく。読書を生活の中に根づかせる。」とし、この期間に「先生方による読み聞かせ」「なかよし郵便」「図書委員会の発表」「たてわり班のペアによるなかよし読書」に取り組みます。

先生方による読み聞かせ

14日(月)と16日(水)の業前に、担任以外の先生が教室に、読み聞かせを行いました。子ども達はいつもの違うひとときに緊張しながらも、ワクワクした気持ちで本の世界を楽しんだと思います。

なかよし郵便

自分が好きな本や面白かった本を、友達に紹介する取組です。図書室で用意した郵便はがきに紹介したい本について書いて図書室前のポストに投函すると、図書委員会が宛先の友達に届けてくれます。たてわり班のペアなどの異学年も含め、子ども達は本について楽しく交流しました。

たてわり班のペアによるなかよし読書

上級生が下級生に本の読み聞かせを行います。ペアは6年生と2年生、5年生と3年生、4年生と1年生です。4年生は、昨年度までは読んでもらう立場でしたが、今年度からは自分たちが読み聞かせを行う立場になりました。読む前はガチガチに緊張していましたが、下級生からの感謝の言葉にほっとしていました。

図書委員の発表

読書週間の大きな目玉の一つが、図書委員会による発表です。9月25日(金)の業前に、「としょかんねずみ」という絵本を、映像と音声を使い放送しました。一つ一つの台詞に気持ちを込めた、素晴らしい読み聞かせでした。

舞鶴小では、年間を通じて朝の読書を行っています。全校一丸となつての活動により、読書の輪は、子ども達、そして先生方に確実に広がっています。

